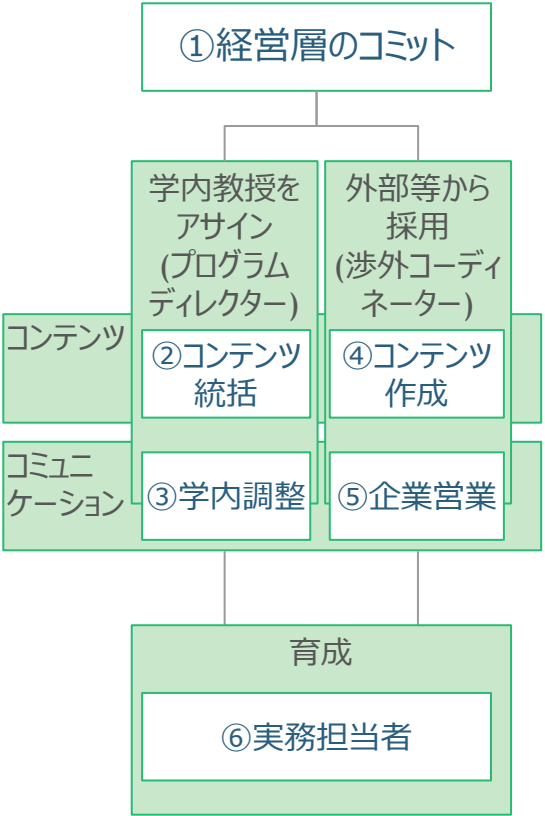


リカレントプログラムの効果的な設計・実装・推進に必要な体制

必要となる役割



必要となる役割 ※役割を満たすための人数・分担は、各大学の裁量

	役割	役割の遂行に必要な能力	人材像(例)
① 経営層のコミット	- リカレント教育を全学戦略へ位置づけ - 学内講師への交渉の後ろ盾	学内への高い影響力	- 出島組織の長 - 学長クラスのコミット
② コンテンツ作成統括	プログラム・カリキュラムの作成統括・進行管理	- 対象領域の学術的知見 (NTH) 対象領域の産業的知見、産学連携の経験	対象領域を研究している教授
③ 学内調整	- 学内講師の選定、交渉 - 渉外コーディネーターのインテグレーション	- 学内の教授陣とのコネクション - 学内意思決定プロセスの知識・交渉力	対象領域において影響力のある教授
④ コンテンツ作成	カリキュラムへの産業界知見・ニーズの盛り込み	対象領域の産業的知見	- 産業界でも有名な教授 - 対象領域の有識者、複数業界を見てきたビジネスパーソン
⑤ 企業営業	- 実務家講師の選定、交渉 - 企業への営業	- 産業界とのコネクション・影響力・交渉力 (NTH)対象領域の産業的知見	産業界にリレーションのあるビジネスパーソン(領域を問わない)
⑥ 実務担当者	(②③の補助)企業ニーズの吸い上げ・大学シーズとのマッチング、効果的な社会人教育設計への助言 (⑤の補助) 企業営業実務	- ニーズ把握・言語化・交渉力 - 教育プログラム開発の知見、産学連携の知見 - 基本的なtoB営業力	- 教育プログラム開発担当者に、産学連携スキルをアドオン - URAに、教育プログラム設計スキルをアドオン